30 01 02 01 08 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月14日（金）

事務事業	協働のまちづくり推進事業	担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3006
第2次総合計画 行政施策分野別名		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200006 みんなで創る協働のまち（協働・行政経営）	根拠法令個別計画等	・深谷市市民協働指針 ・深谷市市民協働事業提案制度実施要綱 ・深谷市人材バンク運用要領 ・深谷市市民活動団体登録要綱				
中項目	200002 将来に向けた持続可能なまちづくり						
小項目	200002 市民との協働・交流の推進						

事業概要	多様化する地域の課題や市民ニーズに対し、行政だけで対応することは困難になってきていることから、市民と行政が互いの力を持ち寄って地域を支える『協働のまちづくり』を推進する。
目的 ※何のために	深谷市が抱えている課題の解決 市民によるまちづくりの推進
対象 ※誰・何を対象に	深谷市で活動している、市民活動団体・個人
手段 ※どのように	市民団体等から協働事業の提案を受け付ける。 市民活動の支援を行う。
成果 ※何を求めるか	課題解決に向けての新たな事業の実施 市民活動によるまちの活性化
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	08	地域振興費	協働のまちづくり推進事業	3,816,287
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・市民協働事業提案制度の運用	・
・市民活動の支援	・
・協働のまちづくりの啓発	・
・高等教育機関、企業、団体等との連携	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発	市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発	市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発	市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発	市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発	市民協働事業提案制度の運用 市民活動応援パックの提供 協働に関する周知・啓発
事業費	予算（現額）	2,057,000	4,442,000	4,042,000	4,025,000	4,066,000	3,810,000
	決算額	1,720,843	4,321,030	3,759,934	3,816,287	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	1,278,000	2,046,000	2,232,000	3,504,000	2,829,000	3,187,000
	一般財源	442,843	2,275,030	1,527,934	312,287	1,237,000	623,000
人件費	従事職員数（人）	1.41	2.14	2.04	1.51	1.51	1.51
	人件費相当試算 ※1	10,968,390	16,653,480	16,036,440	12,285,360	12,285,360	12,285,360
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		12,689,233	20,974,510	19,796,374	16,101,647	16,351,360	16,095,360

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	技活サイトへの動画掲載割合	目標値	件	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	□
			実績値		0.00	1.32	1.07	1.23	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		技人１人当たりの技活サイトへの動画掲載本数（動画数÷技人数）							
		実績値									
■	成果指標１	市民活動サポートセンター登録団体数	目標値	件	47.00	50.00	53.00	56.00	59.00	62.00	□
			実績値		47.00	58.00	64.00	67.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		市民活動団体の増加目標値、年３団体と同様とする							
□	成果指標２	物品貸出制度利用件数	目標値	件	0.00	5.00	5.00	5.00	5.00	6.00	□
			実績値		0.00	6.00	2.00	4.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		市民活動サポートセンター登録団体数の１０％の利用を目安として設定							
		実績値（単年度）									
■	成果指標３	人材バンク活用件数（委員会等以外の外部）	目標値	件	6.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	□
			実績値		4.00	21.00	29.00	11.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度登録者数の１０％の活用を平成３４年の目標として設定							
		実績値（単年度）									
□	成果指標４	クラウドファンディング利用手数料支援制度利用件数	目標値	件	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	□
			実績値		3.00	1.00	0.00	1.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２８年度、２９年度の実績値から、年２件の利用を目標とする							
		実績値									
□	成果指標５	深活サイト投稿件数	目標値	件	0.00	0.00	400.00	1,000.00	1,360.00	1,720.00	□
			実績値		0.00	0.00	489.00	1,072.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		投稿コンテンツ数。初年度は４００件。以後３０件／月							
		累計									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 技活サイトへの動画掲載本数は、技人１７０人のうち動画が２０９本で、１人あたり１．２３本となっており、目標の１人１本以上を達成している。また、市民活動サポートセンター登録団体数も目標値を超える６７件と増加傾向を維持している。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 新型コロナウイルス感染防止のため多くの活動が自粛されたことから、人材バンクの活用件数は減少したものの、物品貸出制度利用件数及びクラウドファンディング利用件数は、前年よりも成果が上がった。また、深活サイトの投稿件数も目標を上回る件数となった。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	協働推進係　柳瀬　正人

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	市民活動と一口に言っても、多様なものがある。しかし、市民がこの市民活動自体を知らなければ新たに活動も起こらないばかりか、活動も活性化しない。そのため、市民活動を広くＰＲするため動画や写真、音楽といったコンテンツを「深活（ふっかつ）」サイトで公開し、市民活動の活性化を図るとともに、深谷で活動することに誇りとやりがいを感じてもらいシビックプライド（市民が「ふかや」に愛着をもって「ふかや」をもっと良くしていこうとする自負心）の醸成に努めていく。
達成状況及びその効果	「深活（ふっかつ）」サイトの投稿数は目標値を達成することができ、シビックプライドの醸成につながっていると考えられる。今後は、投稿者側だけでなく閲覧者が見やすいサイト運営を行うことにより、より効果的な事業となるよう工夫する必要がある。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	協働のまちづくり推進事業	担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3006

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

技活サイトへの動画掲載割合および深活サイト投稿件数いずれも目標を達成できている。今後は、各サイトの活用に主眼を置いた展開を検討していく必要がある。また、市民活動に必要なヒト（人材バンク）・モノ（物品貸出制度）・カネ（クラウドファンディング）・場所（市民活動サポートセンター）を提供する市民活動応援パック全体の活用を増加させるため、制度の周知に努めていく。

評価者	協働推進課長　笠原　毅

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

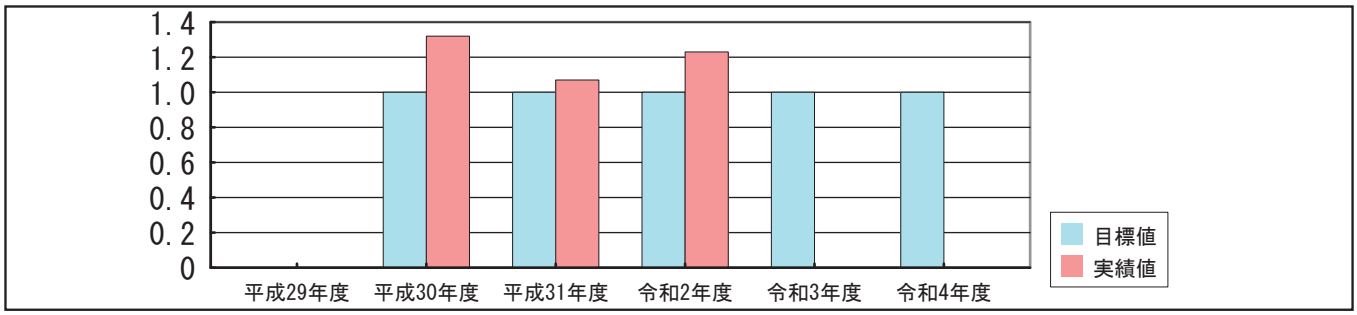
改善・改革案	技活サイトおよび深活サイト自体の運営は軌道に乗っているため、今後はこの活用に主眼を置いた展開が必要である。そのため、ターゲットを個人単位に限定することなく関係機関・企業・団体なども視野に入れてＰＲを進めていく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

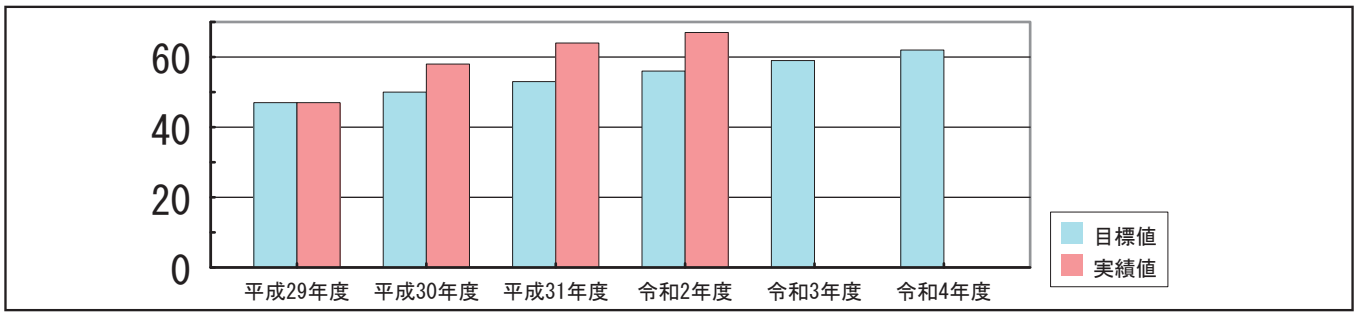
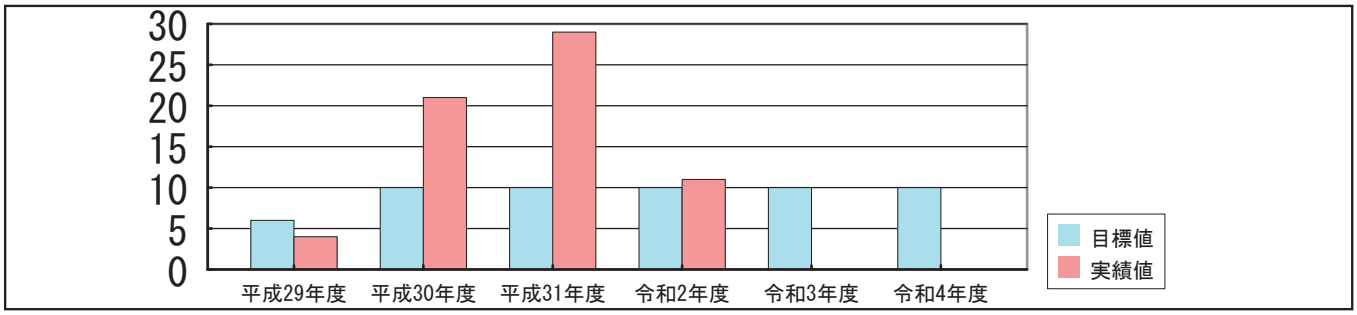
今後の課題	市民活動に必要な資源『ヒト（人材バンク）・モノ（物品貸出制度）・カネ（クラウドファンディング）・場所（市民活動サポートセンター）』を提供する市民活動応援パック全体の活用を促進していく必要がある。そのため、深活サイトの活用促進による、市民活動のＰＲとあわせて制度周知に努めていく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	技活サイトへの動画掲載割合



区分	成果指標１	指標名	市民活動サポートセンター登録団体数



区分	成果指標３	指標名	人材バンク活用件数（委員会等以外の外部）